

アメリカのルール

佐藤 向日葵（高校2年）

今回、私はトランスに行き、アメリカには日本と違うルールがとてたくさんあるということに気がつきました。そこで私はアメリカで過ごしていて気づいた日常生活における様々なルールを詳しく調べました。全体的な特徴としては、日本よりも色々と寛容だという感想を抱きました。

まず、交通ルールから紹介したいと思います。交通ルールは特に、日本とは違う点が多いです。1つ目は、アメリカでは車のハンドルは左側にあり道路の右側を走ります。日本は昔武士が左脇に差した互いの刀が当たらないように左側を歩いたことから左側通行になったと言われていました。昔ヨーロッパでは騎士同士が戦う際、左側から相手に近づき、右回りに戦いが行われていました。しかしナポレオンが主力部隊を右側に配置して、敵軍と正面から戦う戦法で多くの戦争に勝利したことで右側通行が始まり、アメリカ独立戦争でフランスの支援を受けたことからこのフランス方式を取り入れ、右側通行になったという説が有力です。

2つ目は、横断歩道の歩行者の信号に残りの青の時間の秒数が出ます。日本では赤になる直前急にチカチカ光って焦りますが、秒数が出れば歩く速度も調整できるし、渡るのをやめておくこともできます。

3つ目は、路上駐車についてです。アメリカ滞在中、ほとんどの家の前の道路に車が置かれているのを見て驚きました。NO PARKING AM2:00～AM3:00のような標識を頻繁に見かけました。路上駐車がOKなのは日本と違って道が広いからなのか？と感じました。

そして1番驚いたのは、運転免許が16歳で取れるところです。アメリカに行く前は、危ないのではないかなと思っていましたがそんなことはなく、お酒が21歳まで飲めないため5年間はお酒を飲む家族にとって有り難いドライバーになっているようです。



次に、マナーについてです。玄関で靴を脱ぐ時と脱がないで入る時があるようです。普通に帰ってきたら玄関で靴を脱ぐが、とても疲れた日はそのまま入りソファに座ってからゆっくりと靴を脱いだり、どこかへ出かけようとして靴を履いてしまった後に忘れ物に気付いた時は靴のまま取りに行ったりと、時と場合によって使い分けていました。それができるのは掃除しやすい床だからだろうと思っていましたが、調べてみると他にも理由がありました。それは寝る場所の違いです。昔から日本人は畳の上に布団をしいて寝ますが、アメリカ人はベッドで寝ることが多いです。そのため土足で床を歩いても、そこで寝るわけじゃないため土足であることに抵抗がないのだそうです。そしてレディーファーストの国なので、男性はドアのところでは女性を通してから自分が通ります。また、女性でも男性でも次の人のためにドアを押さえておく人がとても多くて親切です。

いろいろ調べてわかったのは、それぞれの国のルールは歴史と昔からの習慣が作り出していて、マナーには考え方の違いや特徴が表れているということです。私たちは、普段ルールを強く意識せず過ごせています。しかし海外に行ったらきっと誰でも注意深くなり、確認し直したりすると思います。もし世界中同じルールだったら、と想像してみましたが、先程も書いたようにルールはその国の歴史から生まれ、他国からの影響を受けたり、足りない部分に気がつき補足したり、修正したりして作られて行くものなのです。やはり、「郷に入っては郷に従え」で行った先々でしっかり守ることが大切だと思います。今回調べて私は、ルールは海外に行く等の特別な時だけによらず日本でもきちんと意識して車に乗るなどして、毎日を過ごしていくべきだと感じました。